

委員会録画中継を見よう！

町田市議会 HP→議会中継→映像配信(委員会録画中継)

→1 [2](#) 3…の[2](#)をクリック→第17期町田市議会改革調査特別委員会 (2024年(令和6年)12月18日 PM1:00)

① 第17期町田市議会改革調査特別委員会 2024年12月18日

< 徹底した隠蔽体質！ 市民には知らせない！

委員会の約半分の時間は、パントマイム状態 >

わずか21分の委員会で、4回の休憩が入る。(休憩中は速記が止まり、議事録に議員の発言の記録は残らない) 休憩中の発言は、委員会中継の音声を消し、まるでパントマイム状態だ。

委員会の冒頭の議題は、「今回の政務活動費の運用指針の改正(費用の按分の仕方)について、市民の意見を聞くか、どうか」について。各会派が持ち帰って会派の意見としてまとめたものを順に報告し、委員会開始後、3分25秒時点で休憩に入り、11分08秒時点で再開。佐藤和彦委員長が、「再開します。市民の声を聞くかについては、各会派にて政務活動費のことについて聞くは勿論のこと、それ以外についても、幅広く、総体的に聞こうということになりましたので、次回の時に各会派よりどのようなことを市民の方に聞くかということにしたいと思います。」と発言。休憩中の7分43秒の間、あれこれ話している姿は見られるが、委員会中継の音声は消されており、「幅広く、総体的に聞こうということになりましたので…」と言われても、どの議員が何を発言したのか、全く不明。

その後、委員会開始後 17分30秒の時点から17分46秒時点の16秒の休憩(本会議に中間報告をする確認)、18分34秒時点から19分17秒時点まで休憩(継続審査とすることの確認)、19分38秒時点から20分29秒時点までの休憩(次回の会議の確認)、と細切れに休憩が入り、その都度、委員会中継の音声を消すという徹底ぶり。内容を推測(カッコ内のように)するが、そもそも、そこまでの内容？休憩した時間は、21分中、なんと10分=48%！『愚か』としか、言いようがない！

< 村社会そのもの！ 町田市議会「村」にいるから、

町田市議会「村」の規律は守ります！だから反対はしません！

アリバイ発言！？にがっかり！>

委員会の2番目の議題は、「改正した内容の施行日を、いつからにするのか」について。「市民クラブ」「自民党」「選ばれる町田」は、2025年4月1日から施行という意見。「無所属の会」は、一致できる場所でいいとの事。「公明党」「共産党」の発言については、少し、期待していただけに、心底、がっかり！

公明党 松葉議員 「今、議論しているので、まあ、2024年の4月からということですが、前回の意見の中で、大半が来年の4月からということであったので、そこは何が何でも今年からというものはなく、わが会派としては今年から…聞き取れず…。」

共産党 田中議員 「共産党市議団としても、公明党会派さんと同じく、まあ今年の4月からというのが、あの、意見ではありますが、あの、まあ、他の、あの、多数の会派の方々で、多い意見で、まあ、どうしても、この段階で決めなきゃいけない部分はあると思うので、施行日のほうを。その点については、皆さんの多い意見を尊重するという意見でもあります。また、自分たちは、これまでどおりというか、対応していくということです。」

② 第17期町田市議会改革調査特別委員会 2025年2月13日

町田市議会 HP→議会中継→映像配信(委員会録画中継)

→1 [2](#) 3..の[2](#)をクリック→第17期町田市議会改革調査特別委員会(2025年(令和7年)2月13日)

< この委員会は徹底した情報**非**公開！

委員会録画中継の約70%は音声を切り、委員会はパントマイム状態 >

1時間07分の会議時間の中、休憩が3回入る。全会議、67分中、47分=70%は休憩となり中継音声が消される。映像を見る限り、議員が議論し、議会事務局職員の説明もある。しかし、この間の議論は、議事録に残らず、中継を見ている市民にも何を話しているのかわからない。こんなことは、私たちが1997年から議会傍聴をし、インターネット中継が開始されてからも、経験がない。情報公開が進んでいると豪語する町田市議会で、しかも議会改革と銘打った委員会でこんなことをする。議員たちは、情報**非**公開で団結しているとしか言いようがない。

議長・佐藤「委員会の議題は、今回の改正について、市民の意見を聞いたらどうかについて。

市民クラブ・小野「我々の会派としましては、今回変更となる部分について市民の方の意見を聞いたらいいのでは」

公明・松葉「市民の意見を聞くというところでは、細かいところを聞いても、なかなかそれをどう反映させるのが難しいと思うので、まずは、議会活動を知ってもらうというところで、例えば議会だよりを見ての感想を聞くとか議会に対する自由なご意見という、なんと言うか広い意味でのご意見をうかがうというのがよいのではないか・・・。」

自民・加藤「会派に持ち帰って話したんですけれども、聞いたその先に、どういった目的で聞くのか、その部分がないと、聞きたいことはおそらくたくさんあるかと思うんですけれども、ちょっと目的を明確にした中で決めていきたいということで、特段、項目が出なかった。なので他の会派の意見を聞いて持ちかえらせていただきたい。」

共産・田中「共産党会派としては、1つは政務活動費に関しては、聞く。要は、他のことも聞くのだけれど、政務活動費についても聞く必要がある。この間、議会改革調査特別委員会のなかで、政務活動費に関する市民意見ということ話を合ってきたので、とはいえ、政務活動費っていうものを市民の方は知らない、割と多いかと思しますので、まあ、その、アンケートの目的としては、その政務活動費っていうことについて少し市民理解が得られるようなものができたらいいのかな、と言うところもあってですね、まあ、例えばですけども、まあ、せっかく、町田市議会は情報公開をしっかりやっているの、一案ですよ、あの、「領収書をね、全て公開しているのを知っていますか？」とか、「政務活動費自体を知っていますか？」とか。あとは、とはいえ、先ほども意見があったんですけども、細かいところを聞いてもわからないというところあると思いますので、今回の改正のところを、少し簡単に紹介して、そこについて自由に意見を求める、ないしは、このハンドブック自体、まあ、興味ある方は見ていただくという前提で、「ハンドブックに対してのご意見はありますか？」というような、広く聞いて何かわかりにくいよかっていう意見があれば、そこを少しわかりやすい表現に、何か紹介ができるとか、まあ、表現というか、説明の改善っていうふうなことにつながる可能性があるかなっていうふうに思っております。その他、公明党会派さんのおっしゃったように、議会だよりをもっと読みやすくご意見だとか、市議会に対する意見ということとあわせて、政務活動

費に対するご意見を聞けたらいいと思います。」

選ばれる町田・白川「こういう仕組みを作るのであればもっと幅広くいろんなことを聞くような仕組みにしたほうがいいんじゃないか、というところと、まあ、今、この議特以外にも、広報公聴でもそういう仕組みの話もしているので、まあ、でも、ただそれが二つ同時並行で行くんだったら、一つの場所でしっかりまとめて、質問もそこで話し合っただけのほうがいいのかなど言うところなんです。それと、まあ、今回政務活動費のことが出ているので最初は政務活動費のことを聞くのがいいのかなということと、ただ、その、もう、今、結構話し合っただけで済んだことに対してもう一回意見を聞くって何かおかしな話なので、であるならば、政務活動費のことを知っていますか？とか、どんな使われ方かご存知ですかといった感じで、話し合った結果、そんな感じです。」

無所属・新井「政務活動費のことは、あの、これ、市民の意見を入れて何かをしたほうがいいというようなところから、たしか、このアンケートの話は出ていると思うので、政務活動費については何かを聞かなければならないだろうと。ただ、一部のものを言いたい人たちのためのアンケートではなく、やはり、幅広い市民の皆さんからしっかりと意見をいただき、それを市議会として受け止めて反映させていくという内容で作り上げていくべきであるというのが一つ。もう一つは、やはり、自由に市議会でどういうテーマを取り上げてほしいのかということを書いてもらう。それを我々も参考にしながら「ああ、市民のみなさんはこういうところに着眼点があってこういう問題を取り上げてほしいと思っているんだなあ」と拾えるようなアンケートにすれば議会としても拾えるいい情報が集まるんじゃないのかという意見が出ました。」

議長・佐藤「はい、ありがとうございます。各会派さんから意見を伺いまして、まず、今回、この議会改革調査特別委員会(以後、議特)の中で政務活動費について、やはりいろいろ議論してきた経緯があるので、やはり、まあ、政務活動費については当然聞くべきだという話、まあ、それは、当然皆さんからは市民の意見を聞くべきだということで、合意いたしましたので、それについては何か必要だというのが一つ。あと、皆さんからは、(省略)という話がありました。白川委員からも、今、小委員会の方で市民の皆さんから意見を聞こうというような取り組みが行われているということで、まあ、これ、あとで皆さんに、はかろうと思っておりましたが、小委員会の方にある程度委ねるっていうか、お願いしていこうという思いもあるものですから、そのへん大きく2つに分けてやっていきたいと思うんですけども…。そんな中で、政務活動費については、まあ、各会派さんからも幅広くという話、政務活動費について聞こうという話がありましたけれども、具体的に、どのような聞き方がいいのか、こう、単純に、政務活動費について、どう思うのかそういう意見でいいのか、それとも、田中さんからも少しありました、具体的な例示を挙げて、何かこう、やった方がいいのか、ここらへんで皆さんで具体的な集約というかそういう形にしていきたいと思うんですけども、それについて何かご意見ありますか？」

議長・佐藤「政務活動費の部分についての具体的な問い方というか、まあ、文言、文言のやり方、まあ、決め方みたいな話があれば、そこで一つ決めてまとめて聞ければいい、幅広くというそれはそれでいいと思っているんですけども、なにか皆さんでご意見があれば、…なかなか難しい？」

選ばれる町田・白川「今、小委員会との兼ね合いの話、これ、もし、小委員会に振るんだったらある程度そっちの方の、こっちで決めて、これやってくれたら、そのへんをどうするのか、そのすり合わせをしないと。」

議長・佐藤「私が思っているのは、やはり、当然、この議特の中で政務活動費について、話をしてきました。政務活

動費については、具体的にこういう項目を聞いてもらいたいということは、小委員会の方をお願いしたいと考えている、その部分だけは。その手法だとか、まあ、あと時期や問題については、小委員会の方に主導権があるわけですが、今回、議特としての意見を踏まえてやってもらいたい。なので、項目だけはしっかり政務活動費の部分については、しかり決めていかなければいけないと思うんで、そこをぜひ決めたい。総合的な部分については小委員会の方に権限があると思うので、参考として、議特としてはこういうことが出来ましたよと思っている。そういう意味で政務活動費の部分について決めたい。加藤委員長・・・(議会運営委員会の広報・広聴小委員会の委員長か?)」

自民・加藤「今、お話いただいたんですけども、まあ、大体は決めていただきたいですね。あの、小委員会の中で方向性が変わってしまうような議論をしていくのではなくて、もう、これに対して、じゃあ、それをどうやってやっで行こうか、という、できればそこだけの議論にしたい、というふうに、思っています。」

議長・佐藤「なので、やはりきっちり決めていく方がいいですね。ということなので、小委員長からも話がありましたので、ここは、ちょっと、決めたい。幅広くという形でいいならいいと思いますし、もう少し例示をもったほうがいいとか、政務活動費を知っているか、とか内容にふみこんだほうがいいのか、今回の改正の内容にそってご意見をいただく、というのがいいのか、そのへんのご意見が今出ていると思うんですが、いかがでしょう？」

自民・石川「あの、一応さっきも言われていたんですけど、政務活動費って、一部だけしかわかっていないと思うんですよ。それを前提に知らせないと、政務活動費と言われても、みんなピンとこないのかな。逆に、議員だけしか、解かっていない。まあ、その、一部の人たちが解らない。これを、全体的にみんなに知らせるって言うのは、どうして知らせるのかという問題と、そのね、政務活動費が本当にどうなのか、というところが、また逆にへんな議論になっちゃうんじゃないか、という気がしないでもない。今、一部でも、そう思っている人たちがいる。全体的に、何で、こんなに、議員、もらっていて、どうなの?っていうところも出てくるかもしれない。そのの、政務活動費を、こういうもんだよ、と知らせる方が、大変かな。逆に、一般の人達に、なまじ、名前(言葉?)では言っていますけれど、どんなもんなのかな。そのの、皆さんに知らせる、知らせ方考えなければ、ならないと思うんですけど・・・、私の意見です。」

議長・佐藤「まあ、石川議員から今、質問の前に、まあ、どういう内容に意見を聞くべきかというその前に、政務活動費の内容もっと知らせるべきという話だったんですけども、何かそれを踏まえた意見何かありますか?まあ、それはそれで必要な意見なんですけど、そこをどうするのか、まあ、あんまり踏み込んだらと小委員会さんの部分になっちゃうんじゃないか。」「まあ、政務活動費の内容を、もう少しひらたく説明したうえでの意見を聞くべきだ、みたいな話でしょうかね、今の話だと。どうですか、みなさん。」

無所属・新井「あの、市議会のHP頁に政務活動費っていう頁があるじゃないですか。あれを読んで、率直に解るのか、解からないのか、ですよ。」「何を言っているのかさっぱり解らない」っていうところかもしれない。「これ、項目、どういうことなの」から、もしかしたらスタートするかもしれないし、やっぱり、今、石川委員がお話されたように、解っている人達からすると「ああ、そういうことだな」と解ると思うんですが、何も知らない人が、いきなりこれをパッと見て「どういうことなの?」というところからのスタートだと、たしかになかなかむずかしいところがあるかなという気がします。」

選ばれる町田・白川「あの、今、確かに、政務活動費って、それこそ、知っている人は、なんかこう、非難したい人は、こう、よく、あの、調べたりするので、本当に何も記載がないと、本当にその部分だけの人たちの意見になる可能性、新井さんが言ったような形になりえると思うので。そうだと、基本的な情報を記載した上での質問みたいな、まあ、そうすると、小委員会の、さっき言った、入ってってしまうけれど、それは、今言ったように、項目だけパツと並べられて「どうですか？」と言った時には、確かに今言ったようなことが起り得るので、まあ、ちょっとそれは個々で検討するのか、ちょっと別の場所で検討するのか、あれですけども、それは記載があった方がいいのかもしれないと、ちょっと、今、二人の意見を聞いて、感じました。」

…ここで、議長が議論の整理をする。「一部の人達だけの意見だけではなく、幅広い人の意見を聞くことが大切。」という新井議員の発言を引用しつつ、政務活動費というのはこういうものという説明の後、簡単な質問項目を考え、議会運営委員会の広聴・広報小委員会に提案するということが合意される…

松葉「一つ確認なんですけれど、先ほど自民党会派さんが目的を明確にしてからの方がいいんじゃないかというご意見、あったと思うんです。これ、市民の意見を聞くというところを否定するものではないんですけども、その、聞いた先は、どうするんですか？その市民の意見があったものを、また、反映して、この場でまた議論するのか、さっき、あの、一方で、「決めたものを、また聞くのか」が、云々という話があったかと思うんですけど、「その目的、その先、出た意見を、どうしていくのか」というところが、ごめんなさい、私、見えていなくて、そこは、どうなんでしょうか…。」

議長「はい、ちょっと、休憩したほうがいいのか、休憩します。僕の私見…」⇒この後、27分22秒間、休憩。

議長「それでは再開いたします。お諮りします。本件についてはわかりやすい政務活動費の説明をして、Q&Aで理解を深めたいうで、「皆様はどのようなお考えをお持ちですか？」と聞く、そのような形でお聞きする。そして政務活動費以外につきましては、議会だよりについて、市議会 HP について、市議会 で取り上げて欲しいテーマについて聞く、ということにしたいと思います。ご異議ございませんか。「休憩します。」⇒この後、1分24秒間、休憩

議長「先ほどの意見につきましては議会運営委員会の広報・広聴小委員会で決定していただくことにしたいと思います。それではよろしいでしょうか。ご異議なしと認めます。」「休憩します。」⇒この後、17分42秒間休憩

議長「再開します。次回の開催時間は2月26日13:00となりますので、よろしくお願いいたします。付議事件① 議員の調査活動等に関する事項、付議事件② 議会の権能・機能強化に関する事項、付議事件③ 議会の情報提供に関する事項、につきましては、なお審査を要するため継続審査といたします。